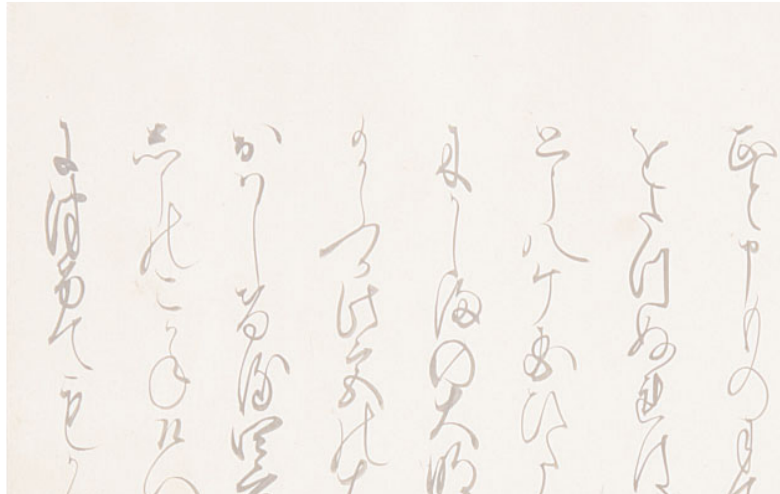
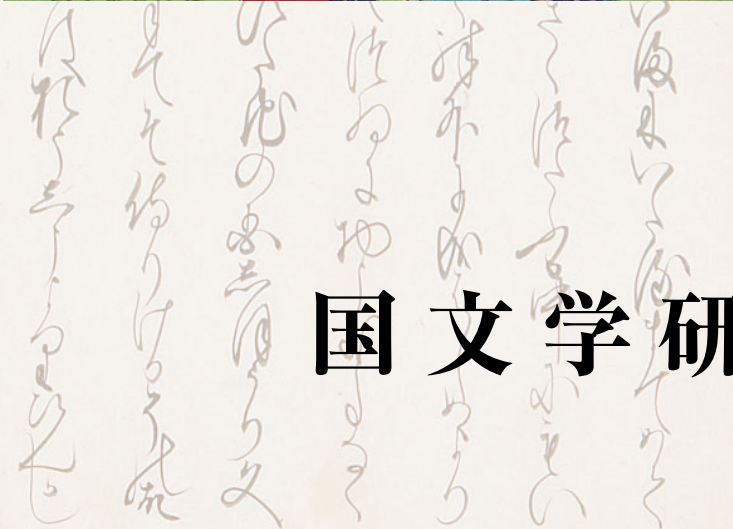


2019年 カレンダー



『一二支寄合咄(じゅうにしよりあいばなし)』
〔当館蔵 請求記号:449〕



国文学研究資料館



1

むつき
睦月

日	月	火	水	木	金	土
		1 <small>元日</small>	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14 <small>成人の日</small>	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2

きさらぎ
如月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11 <small>建田記念の日</small>	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

2019年

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国文学研究資料館

TEL:050-5533-2900 <https://www.nijl.ac.jp/>

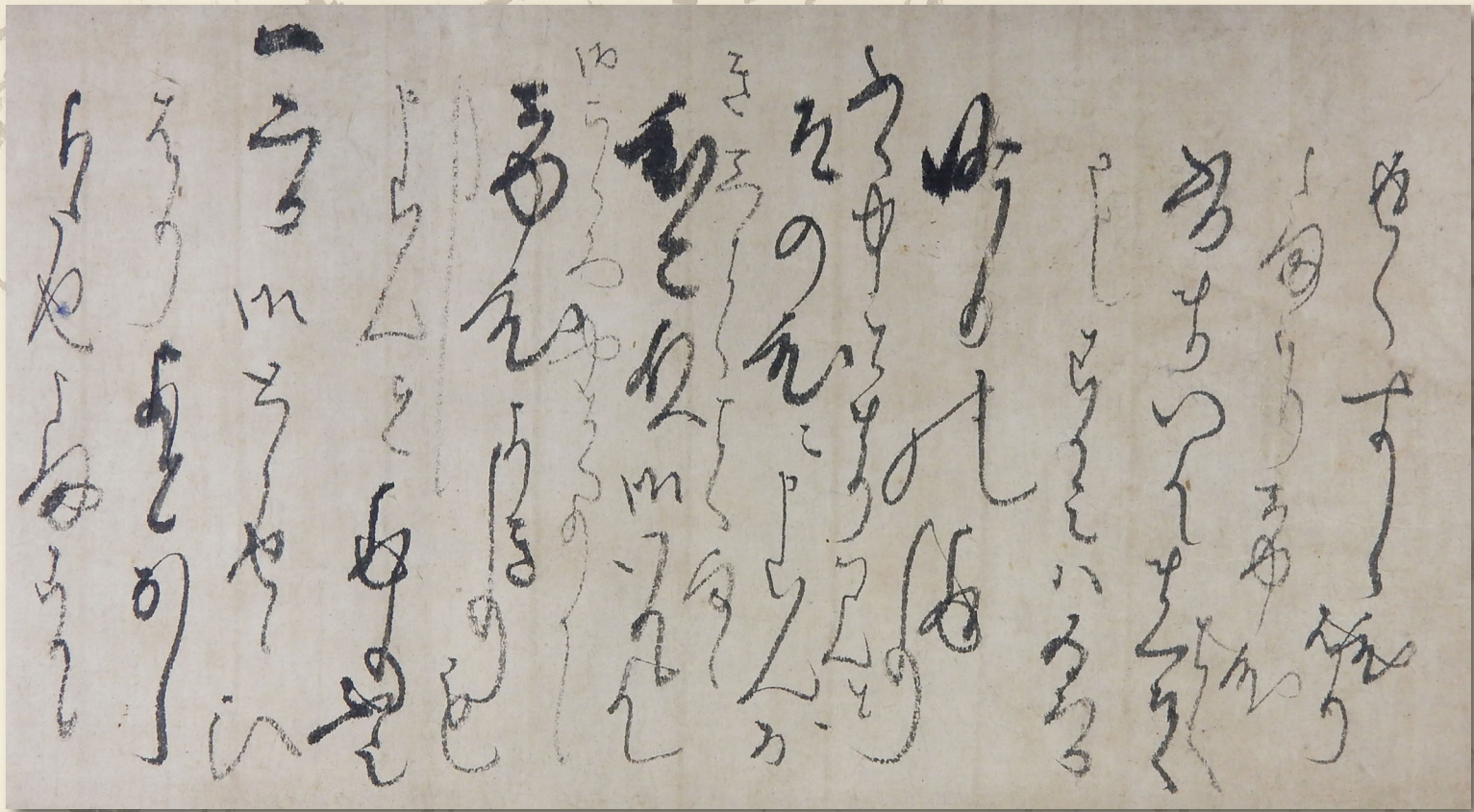
(1月・2月の閲覧室休室日) 年末年始(12/26-1/6)、日曜日、祝日、振替休日、
観音点検期間(2/25-3/2)、1/9、2/3、2/13(他に臨時休室することがあります。)

「一二支寄合咄(じゅうにしりあひばなし)」

[当館蔵 請求記号:449]

[明治初期刊 見開き1図 35.8×49.0センチ]

明治開化期の初期の風俗を、十二支の集会に擬して風刺したもの。刊年を示す扉印はやや崩れていて明瞭でなく、1872(明治5)年のように見えるが、図中の「とり」の詞に「ことしは、とりわけねはんんでいそがしい…」とあるので、翌年の1873(同6)年の可能性もある。丑(牛)が意と餅をみるとぞっとする、と訴えれば、亥(猪)も仲間(豚)が寒くなると危険だと歎く。牛鍋を中心とした肉食の流行を扱ったものとして早いものといえよう。



3

やよい
弥生

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21 <small>香分の日</small>	22	23
24	25	26	27	28	29	30

31

4

うづき
卯月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29 <small>昭和の日</small>	30				

2019年

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国文学研究資料館

TEL: 050-5533-2900 <https://www.nijl.ac.jp/>

(3月・4月の期間室休室日)日曜日、祝日、振替休日、3/2、13、27、4/10、24、30(他に臨時休室することがあります。)

【春日局書状(かすがのつぼねしよじょう)】

〔当館蔵 請求記号:山城国淀稲葉家文書352〕

〔寛永20年6月23日]筆 卷子装1軸

3代将軍徳川家光の乳母として知られる春日局が、孫にあたる稲葉美濃守正則(小田原藩主)に対して送った書状。年次記載なしの6月23日付だが、寛永20年(1643)の作成で、春日が死去する3か月前に書かれたものと推定されている。徳川秀忠の四男にあたる保科正之(会津藩主)や茶人として有名な幕臣の小堀遠州が自邸に來訪し、茶や生け花を楽しんだこと、正則の体調を気遣う様子などが記されている。



5

さつき
皐月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3 <small>憲法記念日</small>	4 <small>みどりの日</small>
5 <small>こどもの日</small>	6 <small>振替休日</small>	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6

みなづき
水無月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

2019年

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国文学研究資料館
TEL: 050-5533-2900 <https://www.nijl.ac.jp/>

(5月・6月の閲覧室休室日)日曜日、祝日、振替休日、5/1, 2, 8, 22, 6/12, 26(他に臨時休室することがあります。)

「転寝の草紙(うたたねのそうし)」

【当館蔵 請求記号:99-30】

【室町時代末期】写 卷子装1軸 15.3×全長673.1センチ

ある大臣の姫君が、うたた寝の夢の中で出逢った貴公子を忘れられず恋の病に臥すも、石山観音の霊験によってその男性(左大将)と結ばれるお伽草子。小野小町の「うたた寝に恋しき人を見てしより夢てふものは頼みそめてき」(元)ははじめ、さまざまな王朝文学を踏まえる。本書は天竺が通常の絵巻の半分程である小絵(こえ)と呼ばれる絵巻で、室町時代の公家や将軍家の子女の間で流行した。掲出場面は、思いあまって瀬田の唐橋から身を投げた姫君が、石山参籠の後に舟遊びをしていた左大将一行に助けられる場面。

POISSONS ECREVISSES ET CRABES,

DE DIVERSES COULEURS ET FIGURES
EXTRAORDINAIRES,

QUE L'ON TROUVE AUTOUR DES

ISLES MOLUQUES,

ET SUR LES CÔTES DES

TERRES AUSTRALES:

Peints d'après Nature durant la Régence de Messieurs VAN OUDSHOORN,
VAN HOORN, VAN RIBEEK & VAN ZWOLL, successivement
Gouverneurs-Généraux des Indes Orientales pour la Compagnie de Hollande.

OUVRAGE, auquel on a employé près de trente ans, & qui contient un très
grand nombre de Poissons les plus beaux & les plus rares de la Mer des Indes: Divisé
en deux Tomes, dont le premier a été copié sur les Originaux de Monfr. BALTAZAR
COYETT, ancien Gouverneur & Directeur des Isles de la Province d'Amboine,
& Président des Commissaires à Batavia. Le second Tome a été formé sur les Recueils
de Monfr. ADRIEN VANDER STELL, Gouverneur-Régent de la dite Pro-
vince d'Amboine, avec une courte Description de chaque Poisson.

Le tout muni de Certificats & Attestations authentiques.

Donné au Public par Mr. LOUIS RENARD, Agent de S. M. Brit.
à Amsterdam, & augmenté d'une Préface par Mr. ARNOUÏT VOSMAER.

A AMSTERDAM,

Chez REINIER & JOSUÉ OTTENS, MDCCLIV.



7

ふみづき
文月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15 <small>海の日</small>	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8

はづき
葉月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12 <small>振替休日</small>	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2019年

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国文学研究資料館

TEL: 050-5533-2900 <https://www.nijl.ac.jp/>

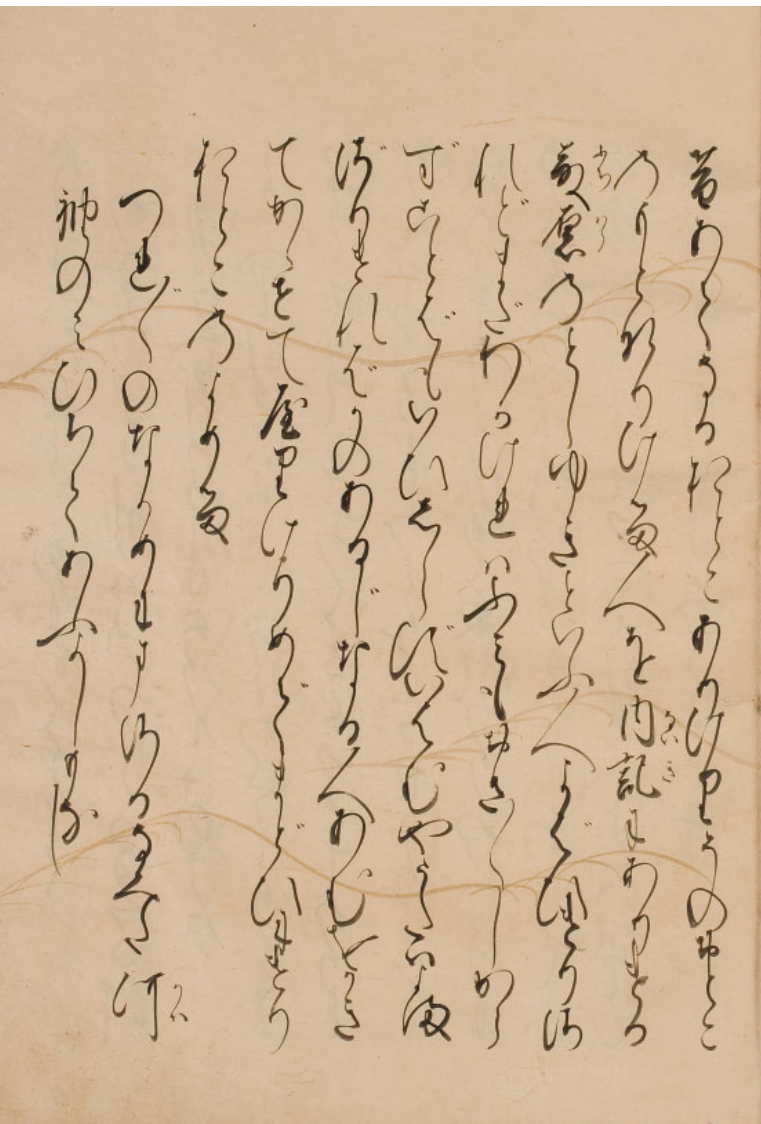
(7月・8月の閲覧室休室日) 日曜日、祝日、振替休日、
7/10, 24, 8/14, 28 (他に臨時休室することもあります。)

「Poissons, ecrevisses et crabes de diverses couleurs et figures
extraordinaires, que l'on trouve autour des isles Moluques, et sur les
côtes des terres Australes (略称: モルッカ諸島周辺およびオーストラリア
大陸沿岸に見られる魚類図譜)」

【当館蔵 請求記号: 2321-336】
【1754年刊 1冊 43.4x27.6センチ】

題名和訳は、「モルッカ諸島周辺およびオーストラリア大陸沿岸に見られる、多様な色彩と
異様な形態の魚、サリガニ、カニ」とある。中央の76の魚は、Dorade Dauphinとあって、「非常に
優雅、かつ非常に美麗、泳ぐために水面へと上り、体を曲げたり伸ばしたりすると素晴らしい色
彩が多様に見える」とある。さまざまな海中生物を色彩豊かに描いた図譜である。

洪沢敬三(大蔵大臣・幣原内閣期)が収集した「祭魚洞文庫旧蔵水産史料」には珍書が
多く、なかでも装幀・彩色絵ともに目をひく一冊である。



9

ながつき
長月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16 敬老の日	17	18	19	20	21
22	23 秋分の日	24	25	26	27	28
29	30					

10

かなづき
神無月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14 体育の日	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2019年

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国文学研究資料館

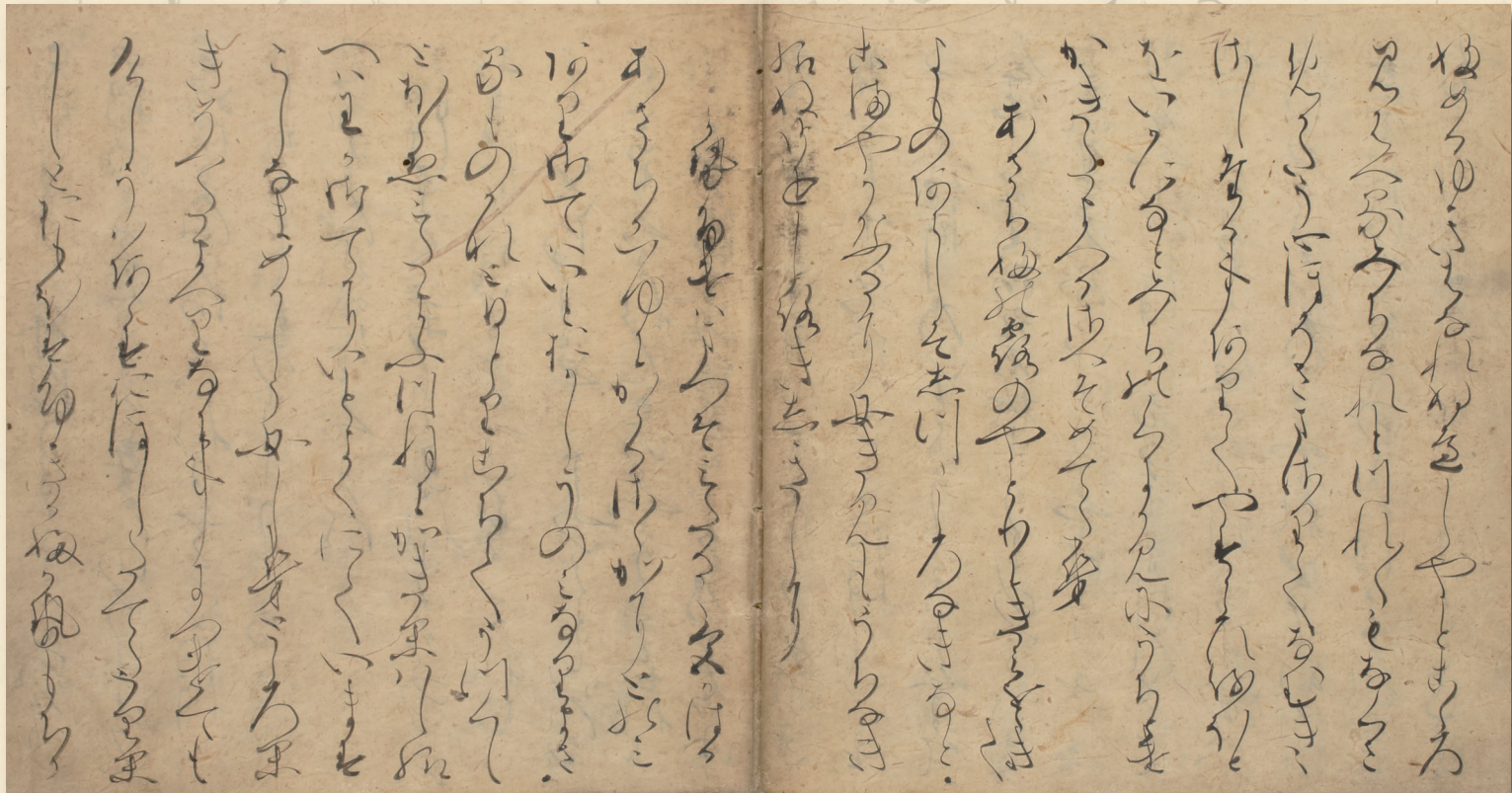
TEL: 050-5533-2900 <https://www.nijl.ac.jp/>

(9月・10月の閲覧室休業日)日曜日、祝日・振替休日、9/11、25、10/9、23(他に臨時休業することがあります。)

【伊勢物語(いせものがたり)】

【当館蔵 請求記号:98-221】

【寛文延宝(1661~81)頃写 列帖装3帖 濃彩 23.3×16.8センチ 鉄心斎文庫
平安時代初期の歌物語。作者未詳。在原業平(ありわらのなりひら)とおほしき男の一代記のかたちを取る。慶長13年(1608)に、49図の絵入り豪華本「嵯峨本伊勢物語」が刊行されてからは、その影響下にある絵が大半を占めるようになる。本書も本文・挿絵(全49図)ともに嵯峨本にきわめて近い。掲出場面は、「百人一首」で著名な業平の「ちはやぶる神代も聞かず竜田川からくねなるに水くくるとは」の和歌からなる第106段「竜田川」。



11

しもつき
霜 月

日	月	火	水	木	金	土
					1 <small>古典の日</small>	2
3 <small>文化の日</small>	4 <small>振替休日</small>	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23 <small>勤労感謝の日</small>
24	25	26	27	28	29	30

12

しわす
師 走

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2019年

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国文学研究資料館

TEL:050-5533-2900 <https://www.nijl.ac.jp/>

(11月・12月の期入室休室日) 年末年始(12/27-1/5)、日曜日、祝日・振替休日、
11/13、27、12/11、25(他に臨時休室することがあります。)

【源氏物語】桐原本(げんじものがたり さかさばらぼん)

【当館蔵 請求記号:99-165】

【鎌倉時代中期】写 列帖装16帖 15.7×15.2センチ

三条西実隆(さんじょうしきねたか)筆とされる「桐寮(きつば)」を除く15帖は、鎌倉時代中期の書写で各巻の筆跡が異なる寄り合い書き。「源氏物語大成」に桐原本として掲載される貴重な写本。実際補写の1帖を含む16帖がほとんどまわって伝わり、全帖の表装が同じであることから、打曇り(うちぐもり)の表紙や題簽(だいせん)などは室町時代以降の推測される。本文は、音表紙本(あおびょうしぼん)、平成23年(2011)収蔵資料、掲出場面は「賢木(さかき)」。